



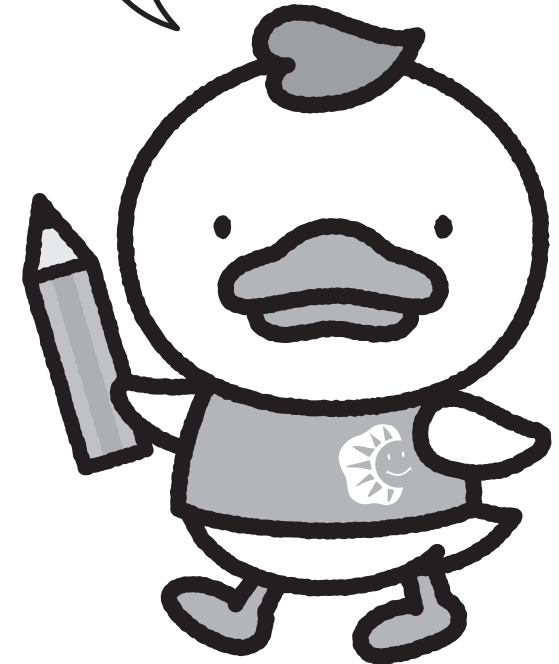
# 七田式 小学生プリント 国語・算数

## 5年生 お試し体験版

各科目の1日分 (各2ページ) を  
計3日分体験できます。



むずかしい問題もある  
けれど、チャレンジして  
みよう!



カリキュラムはコチラ

国語5年生



算数5年生



書き順を「一、二、三…」と声に出して言  
いながら、人差し指で指書きを三回しまし  
よう。それから、鉛筆で書きましょう。



つち・土

5画

アツ

圧カ・圧勝・圧とう・血圧


☆ ( ) に読みがなを書きましよう。

物体に 圧力を 加える。

試合に 圧勝した。

圧とう的な 支持を 得た。

★ ( ) に読みがなを書きましよう。

図書室に残って 勉強をした。

人体に害の 無い 薬品。

合唱部の歌を 録音する。

大量発生した 害虫。

通帳の 残高を 確にんする。

競技の結果を 記録する。

☆ ( ) に漢字を書きましよう。

けつあつが あんていした。

兄の 勢いに あつとうされる。

しよせんで あつしようした。

あつとうてきに 強いせんしゆ。

あつりよくを うけた。

けつあつを 測る。

★ ( ) に漢字を書きましよう。

りがいかんけいが せいりつした。

しゅうまつ の 番組を ろくがする。

ともだちに ざんしよ見まいを出す。

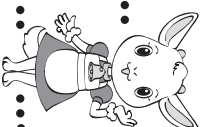
じゅうみんとうろくを する。

すいがいで たてものが 水びたした。

ざんねんな けつか。

※ 圧とう……ほかよりも、はるかにまさること





●計算のきまりは、小数の計算でも使うことができます。

交換  
法則

$$A+B = B+A$$

$$AXB = BXA$$

$$1.6 \times 0.12 = 0.12 \times 1.6$$

1.6	×	0.12	
32		72	
16		12	
0.192		0.192	

$$A+B = B+A$$

$$AXB = BXA$$

AとBを入れかえる  
イメージをしましょう。



結合  
法則

$$(A+B)+C = A+(B+C)$$

$$(AXB)XC = AX(BXC)$$

$$(1.2 \times 2.5) \times 0.4 = 3 \times 0.4 = 1.2$$

$$1.2 \times (2.5 \times 0.4) = 1.2 \times 1 = 1.2$$

$$(A+B)+C = A+(B+C)$$

$$AX(BXC)$$

(かっこ)はかんづめ  
をイメージしましょう。



分配  
法則

$$(A+B)XC = AXC+BXC$$

$$(A-B)XC = AXC-BXC$$

$$(A+B)XC = AXC+BXC$$

$$(A-B)XC = AXC-BXC$$



$$(0.8+0.02) \times 0.5 = 0.82 \times 0.5 = 0.41$$

$$0.8 \times 0.5 + 0.02 \times 0.5 = 0.4 + 0.01 = 0.41$$

わり算  
の性質

$$A \div B = (AXC) \div (BXC)$$

$$0.6 \div 0.02 = \frac{30}{100} \div \frac{2}{100} = \frac{30}{2} = 15$$

$$60 \div 2 = 30$$

$$600 \div 20 = 30$$

$$(A \times 1) \div (B \times 1) = \frac{A}{B}$$

$$(A \times 10) \div (B \times 10) = \frac{A}{B}$$

$$(A \times 100) \div (B \times 100) = \frac{A}{B}$$

$$(A \times 1000) \div (B \times 1000) = \frac{A}{B}$$

商が  
同じ。

余りはちがうので注意。



1 □に当てはまる数字や文字(アルファベット)などを書きましよう。

交換法則は、たし算とかけ算で使うことができます。例えば、

$$A+B = \square + \square \quad AXB = \square \times \square \quad 1.2 \times 2.5 = \square \times \square \quad 2.4 \times 4.5 = \square \times \square$$

どの数字とどの数字が  
同じになるでしょうか。



2 □に当てはまる数字や文字(アルファベット)などを書きましよう。

結合法則は、たし算とかけ算で使うことができます。例えば、

$$(A+B)+C = \square + (\square + \square) \quad (0.8+0.4)+0.6 = \square + (\square + \square)$$

$$(A \times B) \times C = \square \times (\square \times \square) \quad (7.3 \times 2.5) \times 0.4 = \square \times (\square \times \square)$$

どの数字とどの数字が  
同じになるでしょうか。



3 □に当てはまる数字や文字(アルファベット)などを書きましよう。

分配法則は、かっこの中にたし算とひき算、かっこの外にかけ算を使うことができます。例えば、

$$(A+B) \times C = \square \times \square + \square \times \square \quad (0.6+0.04) \times 0.5 = \square \times \square + \square \times \square$$

$$(A-B) \times C = \square \times \square - \square \times \square \quad (0.7-0.04) \times 0.5 = \square \times \square - \square \times \square$$

どの数字とどの数字が  
同じになるでしょうか。



4 □に当てはまる数字や文字(アルファベット)などを書きましよう。

わり算の性質を使うと、小数の計算などをやさしくすることができます。例えば、

$$A \div B = (\square \times C) \div (\square \times \square) \quad 0.28 \div 0.04 = (\square \times \square) \div (\square \times \square)$$

$$= 28 \div 4$$

どの数字とどの数字が  
同じになるでしょうか。



5

消去算を使ったつるかめ算



●消去算…2つの式の、2つのわからない数のどちらか一方を消して求める方法。

つるとかめを合わせると7ひき、  
つるとかめの足を合わせると20本です。  
つるは何羽、かめは何ひきでしょうか。

- = つるの数 (羽)
- = かめの数 (ひき) とすると、
- = つるの足 (本)
- + = かめの足 (本)
- と表すことができます。

消去算を使った解き方です。

考え方 一方の式を何倍かして、もう一方の式とひき算します。

① 式を2つ立てる。

$$\begin{cases} \text{つる} + \text{かめ} = 7 \text{ (ひき)} \\ \text{つる} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} = 20 \text{ (本)} \end{cases}$$

② 上の式全体を4倍する。

$$\begin{cases} \text{つる} + \text{かめ} = 7 \text{ (ひき)} \\ 4 \times (\text{つる} + \text{かめ}) = 28 \end{cases}$$

③ 2つの式全体をひき算する。

$$\begin{array}{r} \text{つる} + \text{かめ} = 7 \\ \text{つる} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} = 20 \\ \hline \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} = 13 \end{array}$$

④ 残りを求める。

$$\text{かめ} = 13 \div 2 = 6.5$$

元の式から  
かめの数を  
求めます。

$$\begin{cases} \text{つる} = 4 \\ \text{つる} + \text{かめ} = 7 \text{ だから、} \\ \text{かめ} = 7 - 4 = 3 \text{ (ひき)} \end{cases}$$

1 消去算を使って、右のつるかめ算を解きました。□に当てはまる数を書きましょう。

つるとかめを合わせると10ひき、  
つるとかめの足を合わせると24本です。  
つるは何羽、かめは何ひきでしょうか。

① 式を2つ立てる。

$$\begin{cases} \text{つる} + \text{かめ} = \square \text{ (ひき)} \\ \text{つる} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} = \square \text{ (本)} \end{cases}$$

② 上の式全体を4倍する。

$$\begin{cases} \text{つる} + \text{かめ} = \square \text{ (ひき)} \\ 4 \times (\text{つる} + \text{かめ}) = \square \end{cases}$$

③ 2つの式全体をひき算する。

$$\begin{array}{r} \text{つる} + \text{かめ} = \square \\ \text{つる} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} = \square \\ \hline \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} + \text{かめ} = \square \end{array}$$

これでつるの数かわかります。

元の式から、かめの数を求めます。

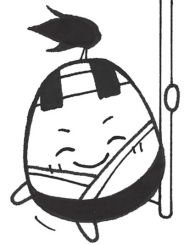
④ 残りを求める。

$$\text{かめ} = \square \div 2 = \square \text{ (羽)}$$

だから、

$$\text{つる} = \square - \square = \square \text{ (ひき)}$$

漢の助が行く!!



心得

漢字の間ちがいを防ぐには、漢字の意味が分かることが大切である。

問題

漢字の意味から熟語の意味を考えよう。まず、( )に熟語の読みを書いたのじゃ。そうして、それぞれの漢字の意味から合うものを選び、計算の式を作るべし!!

例 (き よう) 起 用 = ② + ③

- ① おきあがる
- ② 始める
- ③ 役に立てる
- ④ 用事・仕事

(1) ( ) 重 要 = □ + □

- ① おもい
- ② 大切な
- ③ 求める・願う
- ④ 大切などころ

(2) ( ) 改 正 = □ + □

- ① 新しくする
- ② 検査する
- ③ 誤りを直す (あやま)
- ④ ぴったり、ちょうど

(3) ( ) 当 番 = □ + □

- ① 受け持つ
- ② この～
- ③ 順序を表す (じゆんじょ)
- ④ 交代でつとめる

問題

ふき流しに、漢字と、その漢字が持ついろいろな意味が書いてあるぞ。は、その漢字を使った熟語が入るぞ。漢字の意味を考えながら、□から選んで、漢字に直して書くのじゃ!!

(例)

① かわる → 転 向

② ころぶ → □ □

③ まわる → □ □



① 出入り口 → □ □

② かかわる → □ □

③ つなぎ目 → □ □



① ばらばらにする → □ □

② 意味がわかる → □ □

③ 自由にする → □ □





最初の暗唱を、毎日20回以上言っているかな？ 今日、何回言ったかチェックしましょう。



覚えた 覚えていない



### びっくり起承転結

「ずい想文」の書き方を学びましょう。

「ずい想文」とは、自分が過去に見たことや聞いた話の中から、何か学びを得るという文章です。「起承転結」でまとめてみましょう。

起 (過去見たこと)

「きのうの夜、不思議な光を見たんだ。」  
「どんな光？」

承 (よりくわしく書く)

「緑と青が混ざった、線のような強い光なんだよ。」  
「一体、何の光だろう？」

転 (意外に思ったこと)

「ぼくの部屋の窓からサーッと入ってきたから、すぐ開けてみたら、ユーフォーが空に上っていた。」

結 (その感想)

「ユーフォーを友達が見たというのは信じられなかったけれど、自分の目で見たから、本当にいると思ったよ。」



右のように、ずい想文を書く練習をしましょう。起の後に続けて、承から書きましょう。

起

前に、先生からこんな話を聞いたことがあります。

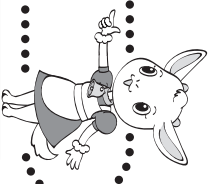
承

転

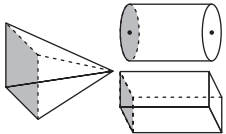
結

## 起承転結

角すいの体積



●角柱・円柱の体積の公式、角すいの体積の公式を覚えましょう。



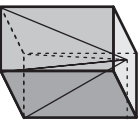
角柱・円柱の体積 = 底面積×高さ

角すいの体積 = 底面積×高さ÷3

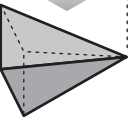


「角柱・円柱の体積は、底面積かける高さ」  
「角すいの体積は、底面積かける高さわる3」  
これを早口で何度もくり返し唱えて、覚えてしまいましょう。

角すいの体積は、角すいが  
ぴったりおさまる角柱の  
体積の3分の1になります。

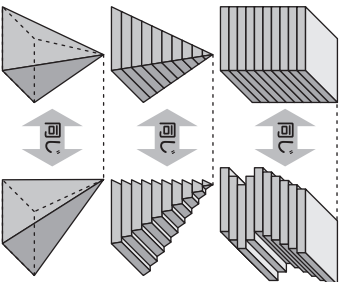


÷3



メモ

カバリエリの原理



角柱や角すいを  
限りなく小さく  
切ると、段差が  
なくなり、底面積  
と高さが同じ  
ならば、体積は  
同じになります。



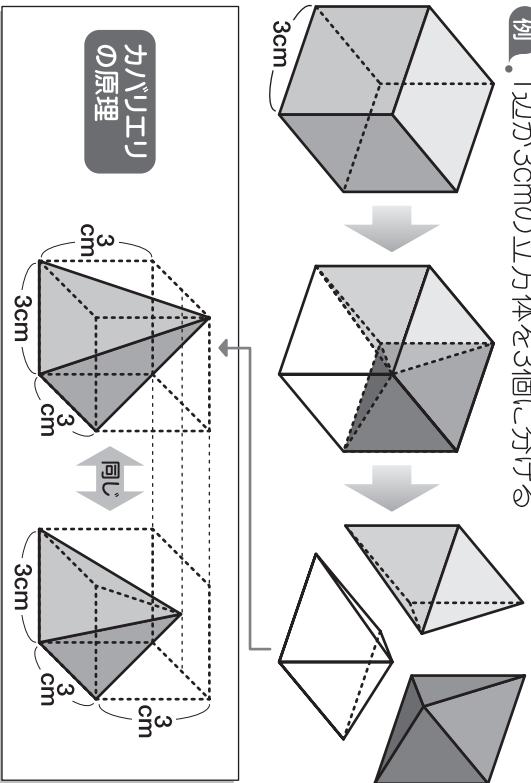
カバリエリ  
(1598～1647)

同じ高さで垂直に切った面積が  
どこでも同じならば、体積も同じ  
になります。  
角すいの体積が、角柱の3分の1に  
なる理由は、この「カバリエリの  
原理」で説明することができます。



1 下は、正四角すいの体積が、角柱÷3になる理由の説明です。  
□に当てはまる数を答えましょう。

例 1辺が3cmの立方体を3個に分ける



四角すいが3つできます。

左の例のように、角柱(例では立方体)を  
分けたときにできる3個の立体の体積は、  
それぞれ、元の角柱÷□です。また、

「カバリエリの原理」から、これらの立体は  
底面の1辺が□cm、高さが□cm  
の正四角すいと同じ体積になります。  
1辺が3cmの立方体の体積は、

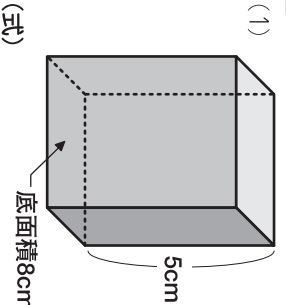
□ × □ × □ = □ cm<sup>3</sup>

だから、底面の1辺が3cm、高さが3cmの  
正四角すいの体積は、

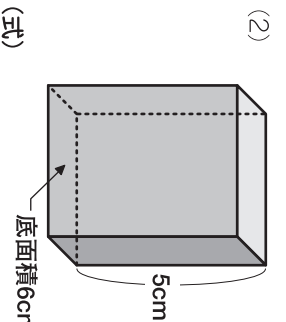
□ ÷ □ = □ cm<sup>3</sup> になります。

公式を使いましょう。

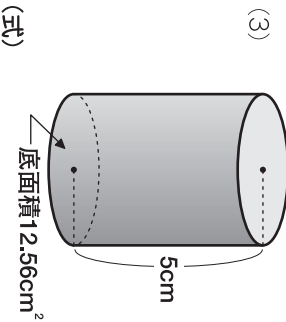
2 次の立体の体積を求めましょう。



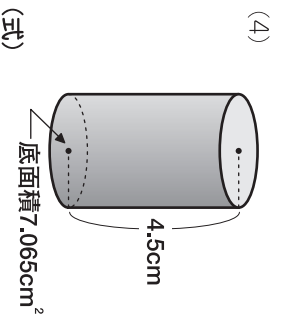
(答え)



(答え)



(答え)



(答え)

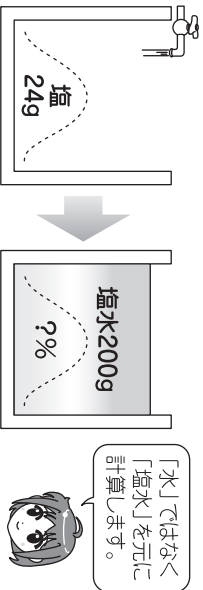


### 濃度(濃さ)



●濃度(濃さ)…塩水の重さを元にした、とけている塩の重さの割合など。ふつう、百分率(%)で表します。

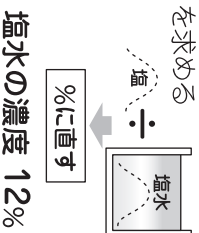
**例1** 塩24gに水を加えて、塩水が200gになるようにしました。この塩水の濃度は何%でしょうか。



**考え方** 割合(倍)を求め、百分率(%)に直します。

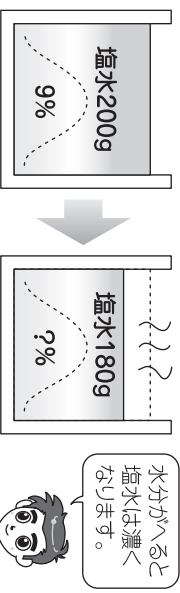
- ① 割合(倍) = 塩の重さ(g) ÷ 塩水の重さ(g) を求める
- ② 百分率(%) = 割合(倍) × 100 を求める

**式**  $24 \div 200 = 0.12$  (倍)  
 $0.12 \times 100 = 12$  (%)



塩水の濃度 12%

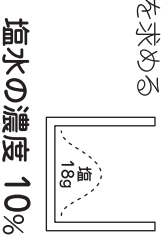
**例2** 9%の塩水が200gあります。これをあたためると水分が減って、塩水が180gになりました。塩水の濃度は何%になったのでしょうか。



**考え方** とけている「塩の重さ」は変わらないと考えます。

- ① 塩の重さ = はじめの塩水の重さ × 百分率(%) ÷ 100 を求める
- ② 割合(倍) = 塩の重さ ÷ 減った後の塩水の重さ を求める
- ③ 百分率(%) = 割合(倍) × 100 を求める

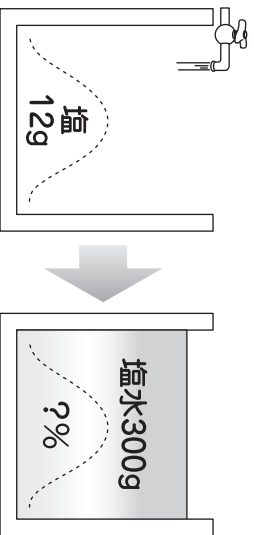
**式**  $200 \times 9 \div 100 = 18$  (g)  
 $18 \div 180 = 0.1$  (倍)  
 $0.1 \times 100 = 10$  (%)



塩水の濃度 10%

**1** 上の**例1**にならって、塩水の濃度(濃さ)を求めましょう。

□に当てはまる数を書きましょう。



塩12gに水を加えて、塩水が300gになるようにしました。この塩水の濃度は何%でしょうか。

#### 解き方

① 割合(倍)を求めると、

割合 =  ÷  =  (倍)

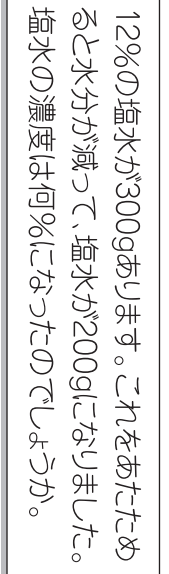
② 百分率(%)を求めると、

百分率 =  ×  =  (%)

となり、塩水の濃度は  %になります。

**2** 上の**例2**にならって、塩水の濃度(濃さ)を求めましょう。

□に当てはまる数を書きましょう。



12%の塩水が300gあります。これをあたためると水分が減って、塩水が200gになりました。塩水の濃度は何%になったのでしょうか。

#### 解き方

① 塩の重さを求めると、

塩の重さ =  ×  ÷  =  (g)

② 割合(倍)を求めると、

割合 =  ÷  =  (倍)

③ 百分率(%)を求めると、

百分率 =  ×  =  (%)

となり、塩水の濃度は  %になります。

中にとけている「塩の重さ」は変わりません。

書き順を「一、二、三…」と声に出して言  
いながら、人差し指で指書きを三回しまし  
よう。それから、鉛筆で書きましょう。



「こんべん・き」  
12画

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
評	判	の	良	い	ラ	ー	メ	ン	屋		

評価・評判・好評・定評  
ヒヨウ

☆ ( ) に読みがなを書きましよう。

かれの作品は高く評価された。

評判の 良いラーメン屋。

家族に 好評だった 料理。

★ ( ) に読みがなを書きましよう。

前方の守備を 固めた。

列車とバスの交通費を 比べる。

自分自身の 非を認めた。

学校の備品を 整理する。

お米を大量に消費した。

この品物は 非売品です。

☆ ( ) に漢字を書きましよう。

しゅういの ひょうばんを聞いた。

こうげきに ていひょうがある。

せいどの せいせきを ひょうかした。

こうひょうはつばいちゅうの本。

ひょうかが 上がった。

味に ていひょうがある店。

形が似ている漢字!

評判	○	許可	×
許判	×	許可	○

★ ( ) に漢字を書きましよう。

かいひを集めるのは私だ。

ひじょうにうれしい話を聞く。

かいてんのじゅんびを てつだう。

こうつうひを計算する。

ひりきな だしやがいるチーム。

しんきのうが そなわったパソコン。

※定評……多くの人がそう認めていて、動かせない評判



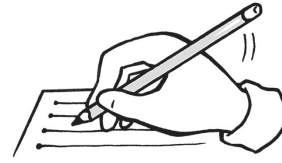
最初の暗唱を、毎日20回以上言っているかな？ 今日、何回言ったかチェックしましょう。

1～5回	
6～10回	
11～15回	
16～20回	
覚えた	覚えていない



ひらめき

# 小論文



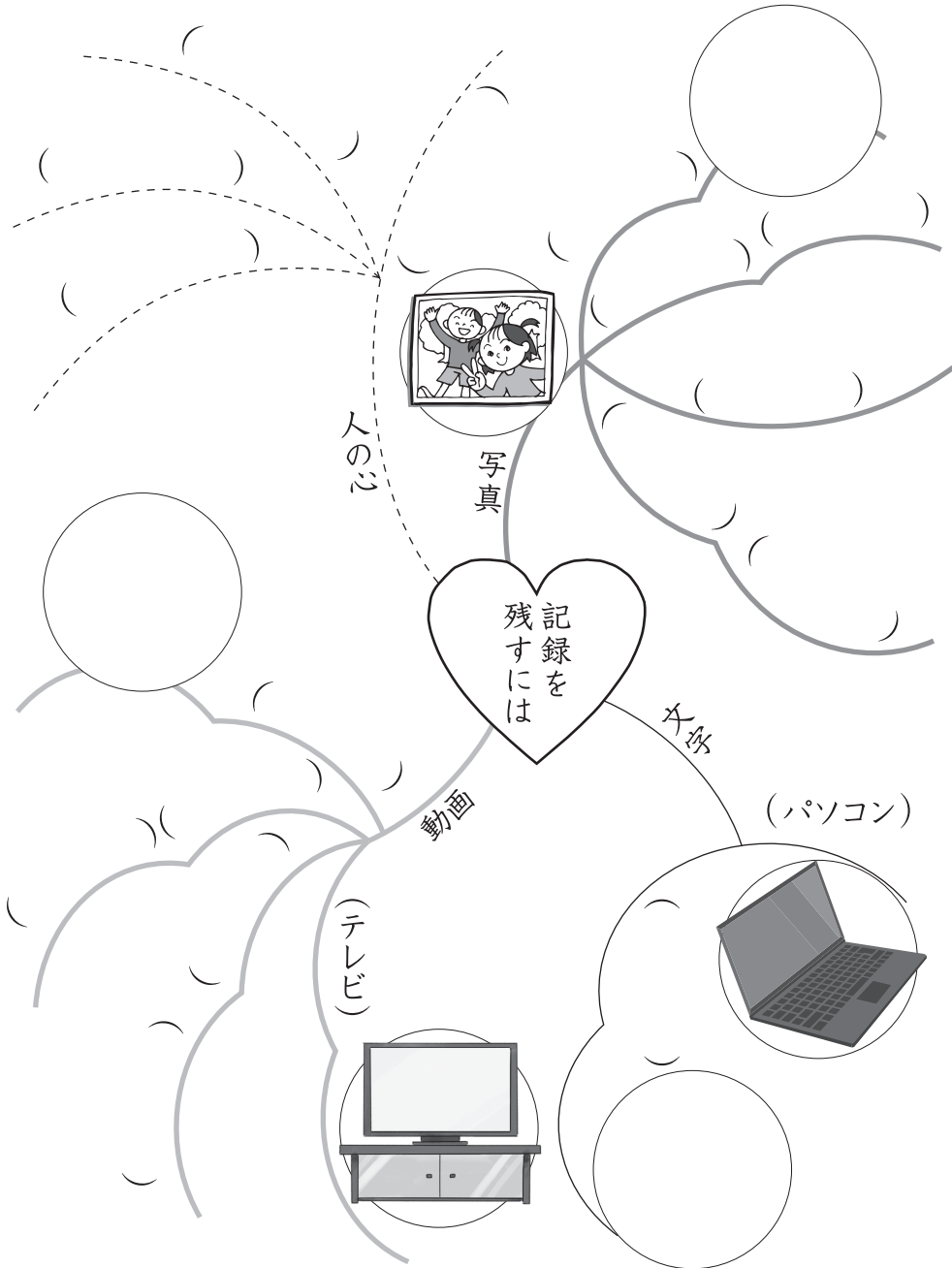
書き出しのポイント

定義の型	疑問文の型	事実の型
「○○とは〴〵のことである。」 「○○と△△のちがいは〴〵である。」	「〴〵だろうか。」 「本当にも〴〵だろうか。」 「〴〵だろうか、それとも〴〵だろうか。」	「新聞によると〴〵」「この前見たテレビでは〴〵」 「よく〴〵と言われているが、」

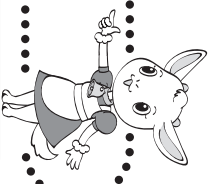
## 小論文の書き出しを工夫しよう

五ノハで小論文の書き出しについて学びました。「事実の型」と「疑問文の型」の二つでしたが、その他にも書き出しがあります。

右の「定義の型」で小論文を書き始めると想像しながら、♡に書いてあるテーマについて、いろいろ考えてみましょう。( )の中にイメージする言葉を書き、○に絵をかいてみましょう。

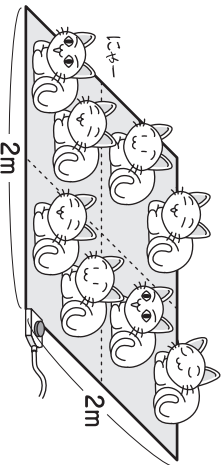


### 単位量当たり



●2つ以上の数量が関係するものを比べるときに、単位量をそろえてから比べることがあります。

例1 たて2m、よこ2mの電気カーペットの上にねこが8ひきいます。

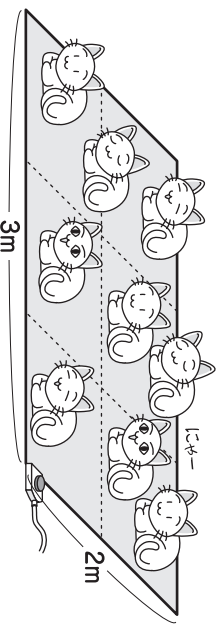


ねこの数÷面積  
 $= 8 \div (2 \times 2)$   
 $= 2$  (ひき)

1m<sup>2</sup>あたりに、ねこが2ひきいます。



例2 たて2m、よこ3mの電気カーペットの上にねこが9ひきいます。



ねこの数÷面積  
 $= 9 \div (2 \times 3)$   
 $= 1.5$  (ひき)

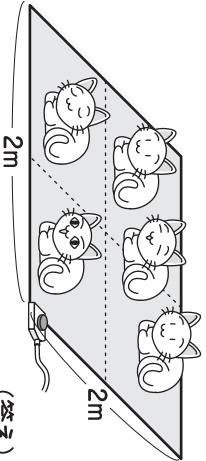
1m<sup>2</sup>あたりに、ねこが1.5ひきいます。



1 上の例にならって、電気カーペット1m<sup>2</sup>あたりにねこが何ひきいることになるかを求めましょう。小数になるときは、四捨五入で十分の一の位までの概数がいすうにしましょう。

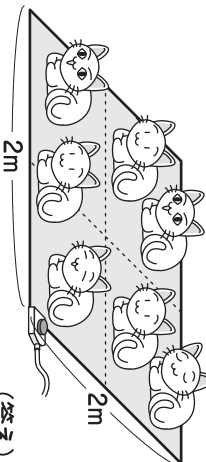
小数になることもあります。

(1)



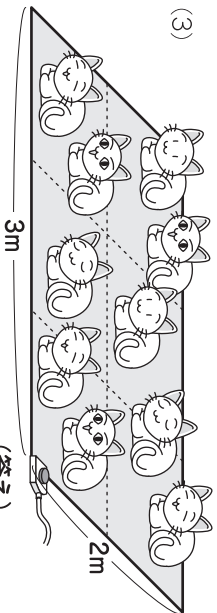
(答え)

(2)



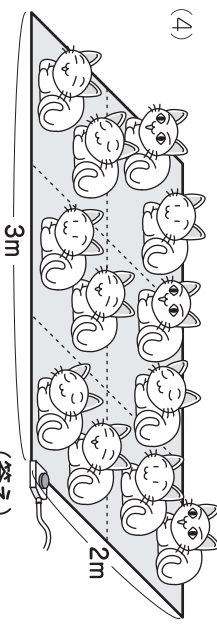
(答え)

(3)



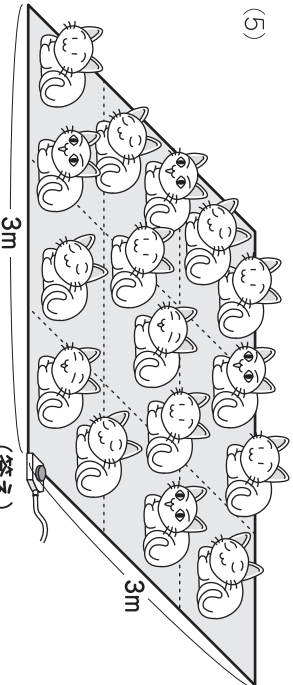
(答え)

(4)



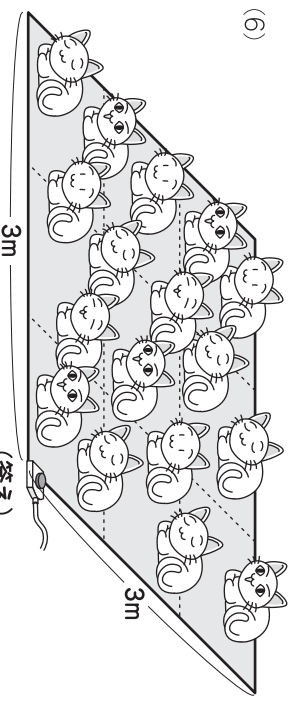
(答え)

(5)



(答え)

(6)



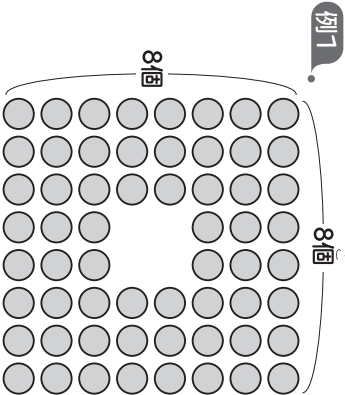
(答え)

5

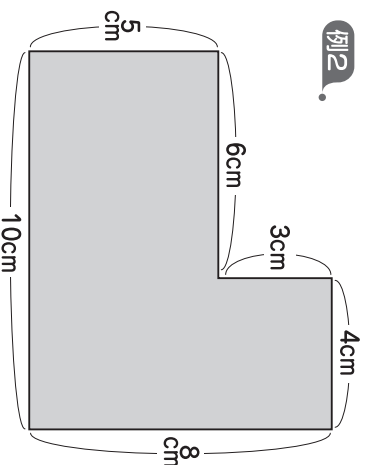
式の表し方と読み方



● いろいろな式の形で表したり、式の意味を考えたりしましょう。



○をいろいろな分け方を考えて、式を考えました。



面積をたしたりひいたりして、式を考えました。



式1  $3 \times 3 \times 4 + 2 \times 3 \times 4$

式2  $8 \times 3 \times 2 + 3 \times 2 \times 2$

式3  $8 \times 8 - 2 \times 2$

4すみを分けて計算する

たてに分けて計算する

空きの部分をひいて計算する

式1  $3 \times 4 + 5 \times 10$

式2  $5 \times 6 + 8 \times 4$

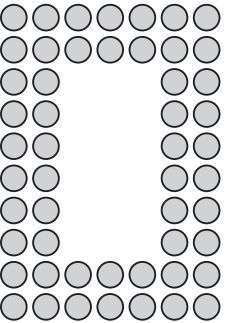
式3  $8 \times 10 - 3 \times 6$

上下の長方形に分けて計算する

左右の長方形に分けて計算する

空きの部分をひいて計算する

1 下の図のような○をいろいろな分け方をして、○の合計数を求める式を考えました。式に合った説明図と説明文を右から選び、線で結びましょう。



○どここの数を使っているかな？

$5 \times 2 \times 2 + 2 \times 8 \times 2$

$7 \times 10 - 3 \times 6$

$7 \times 2 \times 2 + 2 \times 6 \times 2$

$2 \times 2 \times 4 + 2 \times 6 \times 2 + 3 \times 2 \times 2$

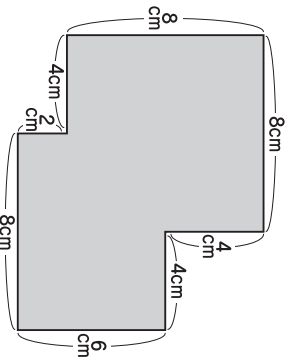
空きの部分をひいて計算する

たてに分けて計算する

4すみを分けて計算する

風車のように4列に分けて計算する

2 下のような図形をいろいろな分け方をして、□の部分の面積を求める式を考えました。式に合った説明図と説明文を右から選び、線で結びましょう。



○どここの長さを使っているかな？

$8 \times 8 + 6 \times 8 - (8 - 4) \times (8 - 4)$

$8 \times 4 + (8 - 4) \times (4 + 6) + 4 \times 6$

$4 \times 8 + (8 - 4) \times (8 + 4) + 2 \times 8$

$(8 + 2) \times (8 + 4) - 4 \times 4 - 2 \times 4$

上下の長方形に分けて計算する

左右の長方形に分けて計算する

空きの部分をひいて計算する

2つの重なった四角と考える計算する

漢字

★(一)に読みがなを書きましょう。  
 図書室に残つて勉強をした。  
 人体に害の無い薬品。  
 合唱部の歌を録音する。  
 大量発生した害虫。  
 つうちよう(さんだか)  
 通帳の残高を確にんする。  
 就技の結果を記録する。

★(一)に漢字を書きましょう。  
 (利害関係)(成立)  
 リがいかんけいがせいりつした。  
 (週末)(録画)  
 しゅうまつ番組をろくがする。  
 (友達)(残暑)  
 ともだちにしんしよ見まいを出す。  
 (住民登録)  
 じゅうみんどうろくをする。  
 (水害)(建物)  
 すいがいでたてものが水びたした。  
 (残念)(結果)  
 ざんねんなけつか。

☆(一)に読みがなを書きましょう。  
 (ぶつたい)(あつりよく)(くわ)  
 物体に圧力を加える。  
 (しい)(あつしよう)  
 試合に圧勝した。  
 (あつ)(てき)(じ)  
 圧力的な支持を得た。

圧(あつ) 圧勝(あつしよう) 圧力(あつりよく) 圧的(あつりよく) 圧勝した(あつしよう) 圧力的な支持(あつりよく)を得た(あつしよう)。

書き順を「一、二、三」と声に出して言  
 いながら、人差し指で指書きを三回しよ  
 う。それから、鉛筆で書きましよう。

国語五

月

日

曜日

国語1枚目

算数1枚目

1

交換法則は、たし算とかけ算で使うことができます。例えば、

$$A+B = \boxed{B} + \boxed{A} \quad A \times B = \boxed{B} \times \boxed{A} \quad 1.2 \times 2.5 = \boxed{2.5} \times \boxed{1.2} \quad 2.4 \times 4.5 = \boxed{4.5} \times \boxed{2.4}$$

となります。

2

結合法則は、たし算とかけ算で使うことができます。例えば、

$$(A+B)+C = \boxed{A} + (\boxed{B} + \boxed{C}) \quad (0.8+0.4)+0.6 = \boxed{0.8} + (\boxed{0.4} + \boxed{0.6})$$

$$(A \times B) \times C = \boxed{A} \times (\boxed{B} \times \boxed{C}) \quad (7.3 \times 2.5) \times 0.4 = \boxed{7.3} \times (\boxed{2.5} \times \boxed{0.4})$$

となります。

3

分配法則は、かっこの中にたし算とひき算、かっこの外にかけ算を使うことができます。例えば、

$$(A+B) \times C = \boxed{A} \times \boxed{C} + \boxed{B} \times \boxed{C} \quad (0.6+0.04) \times 0.5 = \boxed{0.6} \times \boxed{0.5} + \boxed{0.04} \times \boxed{0.5}$$

$$(A-B) \times C = \boxed{A} \times \boxed{C} - \boxed{B} \times \boxed{C} \quad (0.7-0.04) \times 0.5 = \boxed{0.7} \times \boxed{0.5} - \boxed{0.04} \times \boxed{0.5}$$

となります。

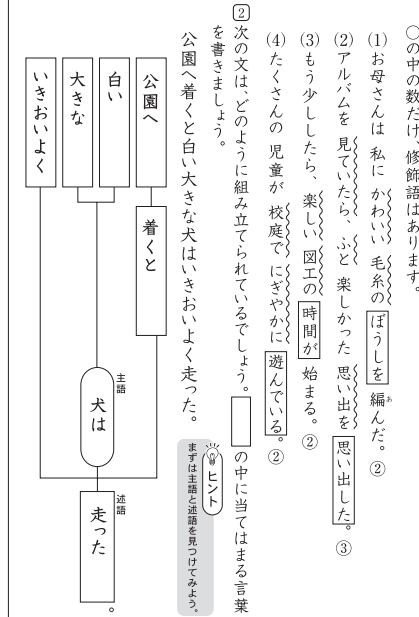
4

わり算の性質を使うと、小数の計算などをやさしくすることができます。例えば、

$$A \div B = (\boxed{A} \times \boxed{C}) \div (\boxed{B} \times \boxed{C}) \quad 0.28 \div 0.04 = (\boxed{0.28} \times \boxed{100}) \div (\boxed{0.04} \times \boxed{100}) = 28 \div 4$$

となります。ただし余りの数が変わるので、注意が必要です。

修飾語・被修飾語



修飾語とは、言葉をくわしく説明する言葉のことです。また、くわしく説明される言葉のことを、被修飾語といいます。

主語: かさが、述語: ある、被修飾語: しま模様の、被修飾語: かさが、被修飾語: ある

☆ポイント②  
 大きなしま模様のかさが、ある。 (被修飾語: 大きなしま模様の、被修飾語: かさが、述語: ある)

☆ポイント③  
 修飾語・被修飾語の見つけ方  
 ① 修飾語・被修飾語を続けて読んでみる。  
 ② 意味が通じる。  
 ③ 意味が通じない。  
 × しま模様のかさが、ある。  
 ○ しま模様のかさが、ある。

国語五

最初の暗唱を、毎日20回以上言っているかな? 今日、何回言ったかチェックしましよう。

1月5日  
6月10日  
11月15日  
16月20日

国語2枚目

算数2枚目

1

① 式を2つ立てる。

$$\text{1羽} + \text{10羽} = 10 \text{ (ひき)}$$

$$\text{2羽} + \text{22羽} = 24 \text{ (本)}$$

② 上の式全体を4倍する。

$$4 \times (\text{1羽} + \text{10羽}) = 40$$

$$4 \times (\text{2羽} + \text{22羽}) = 24$$

③ 2つの式全体をひき算する。

$$40 - 24 = 16$$

$$16 \div 2 = 8 \text{ (羽)}$$

④ 残りを求める。

$$10 - 8 = 2 \text{ (ひき)}$$

漢の助が行く!!

例) ①かわる → 転向  
 ②ころぶ → 転落  
 ③まわる → 回転

かいてん・てんらく

①出入り口 → 関門  
 ②かかわる → 関係  
 ③つなぎ目 → 関節

かんけい・かんもん  
かんせつ

①ばらばらにする → 解散  
 ②意味がわかる → 読解  
 ③自由に → 解放

かいほう・どっかい  
かいざん

問題  
 ふき流しに、漢字とその漢字が持ついろいろな意味が書いてあるぞ。□には、その漢字を使った熟語が入るぞ。漢字の意味を考えながら、□から選んで、漢字に直して書くのじゃ!!

例 (き よう) 起 用 = ② + ③  
 ①おきあがる ③役に立てる  
 ②始める ④用事・仕事

(1) (じゅう よう) 重 要 = ② + ④  
 ①おもい ③求める・願う  
 ②大切な ④大切なところ

(2) (かい せい) 改 正 = ① + ③  
 ①新しくする ③誤りを直す  
 ②検査する ④びったり、ちようど

(3) (どう ばん) 当 番 = ① + ④  
 ①受け持つ ③順序を表す  
 ②この~ ④交代でつとめる

問題  
 漢字の意味から熟語の意味を考えよう。まず、( )に熟語の読みを書いたのじゃ。そして、それぞれその漢字の意味から合うものを選び、計算の式を作るべし!!

漢の助が行く!!

漢字の間ちがいを防ぐには、漢字の意味が分かることが大切である。

国語 五 月 日 曜日

国語1枚目

算数1枚目

1

左の例のように、角柱(例では立方体)を分けたときにできる3個の立体の体積は、それぞれ、元の角柱÷3です。また、「カバリエリの原理」から、これらの立体は底面の1辺が3cm、高さが3cmの正四角すいと同じ体積になります。1辺が3cmの立方体の体積は、 $3 \times 3 \times 3 = 27 \text{ cm}^3$ だから、底面の1辺が3cm、高さが3cmの正四角すいの体積は、 $27 \div 3 = 9 \text{ cm}^3$ になります。

2

(1) (式)  $8 \times 5 = 40$  (答え)  $40 \text{ cm}^3$   
 (2) (式)  $6 \times 5 = 30$  (答え)  $30 \text{ cm}^3$   
 (3) (式)  $12.56 \times 5 = 62.8$  (答え)  $62.8 \text{ cm}^3$   
 (4) (式)  $7.065 \times 4.5 = 31.7925$  (答え)  $31.7925 \text{ cm}^3$

起承転結

結 転 承 起

ぼくは文を書くのが苦手だけれど、田中選手の話聞いてがんばろうという気持ちになりました。

かれが野球選手とは知っていたけれど、実は文を書くのが好きで、難しに小説を連さいしているそうです。

田中一男という野球選手の話です。

前に、先生からこんな話を聞いたことがあります。

結 (その感想)

転 (意外に思ったこと)

承 (よりくわしく書く)

起 (過去見たこと)

「きのうの夜、不思議な光を見たんだ。」  
 「どんな光?」  
 「緑と青が混ざった、線のような強い光なんだよ。」  
 「一体、何の光だろう?」  
 「ぼくの部屋の窓からサーッと入ってきたから、すぐ開けてみたら、ユーフォーが空に上っていた。」  
 「なるほど、そんなことが」  
 「ユーフォーを友達が見たというのは信じられなかったけれど、自分の目で見たら、本当にいると思ったよ。」

「ずい想文」とは、自分が過去に見たことや聞いた話の中から、何か学びを得るという文章です。「起承転結」でまとめてみましょう。

ずい想文の書き方を学びましょう。

びっくり起承転結

最新の暗唱を、毎日20回以上言っているかな? 今日、何回言ったかチェックしましょう。

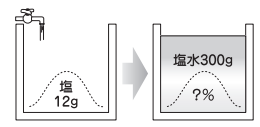
1-5回 6-10回 11-15回 16-20回

国語 五 月 日 曜日

国語2枚目

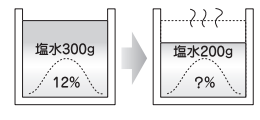
算数2枚目

1



解き方  
 ①割合(倍)を求めると、  
 割合 =  $12 \div 300 = 0.04$  (倍)  
 ②百分率(%)を求めると、  
 百分率 =  $0.04 \times 100 = 4$  (%)  
 となり、塩水の濃度は4%になります。

2



解き方  
 ①塩の重さを求めると、  
 塩の重さ =  $300 \times 12 \div 100 = 36$  (g)  
 ②割合(倍)を求めると、  
 割合 =  $36 \div 200 = 0.18$  (倍)  
 ③百分率(%)を求めると、  
 百分率 =  $0.18 \times 100 = 18$  (%)  
 となり、塩水の濃度は18%になります。

漢字

★ ( ) に読みがなを書きましょう。  
 前方の**守備**を **固**めた。  
 列車とバスの**交通費**を **比べ**る。  
 自分自身の **非**を **認**めた。  
 (びぶん) (せいり)  
 学校の**備品**を **整**理する。  
 (たいりょう) (しょうひ)  
 お米を大量に消費した。  
 (しなもの) (ひばいひん)  
 この品物は **非**売品です。

★ ( ) に漢字を書きましょう。  
 (会費) **私**だ。  
 (非常) **聞**く。  
 (開店) (準備) (手伝) **て**つたう。  
 (交通費) **計**算する。  
 (非力) (打者) **チ**ーム。  
 (新機能) (備) **パ**ソコン。  
 (周囲) (評判) **聞**いた。  
 (生徒) (成績) (評価) **あ**がった。  
 (好評発売中) **本**。  
 (定評) **あ**がった。  
 (会費) **私**だ。  
 (非常) **聞**く。  
 (開店) (準備) (手伝) **て**つたう。  
 (交通費) **計**算する。  
 (非力) (打者) **チ**ーム。  
 (新機能) (備) **パ**ソコン。

書き順を「一・二・三」と声に出して言いながら、人差し指で指書きを3回しなさい。それから、鉛筆で書きなさい。

評 評 評 評

☆ ( ) に読みがなを書きましょう。  
 これの作品は高く**評**価された。  
 (ひょうばん) (よ) (や)  
 評判の **良**いラーメン屋。  
 (かぞく) (こうひょう) (りょうり)  
 家族に **好**評だった **料**理。

☆ ( ) に漢字を書きましょう。  
 (周囲) (評判) **聞**いた。  
 (生徒) (成績) (評価) **あ**がった。  
 (好評発売中) **本**。  
 (定評) **あ**がった。  
 (会費) **私**だ。  
 (非常) **聞**く。  
 (開店) (準備) (手伝) **て**つたう。  
 (交通費) **計**算する。  
 (非力) (打者) **チ**ーム。  
 (新機能) (備) **パ**ソコン。

国語 五

月

日

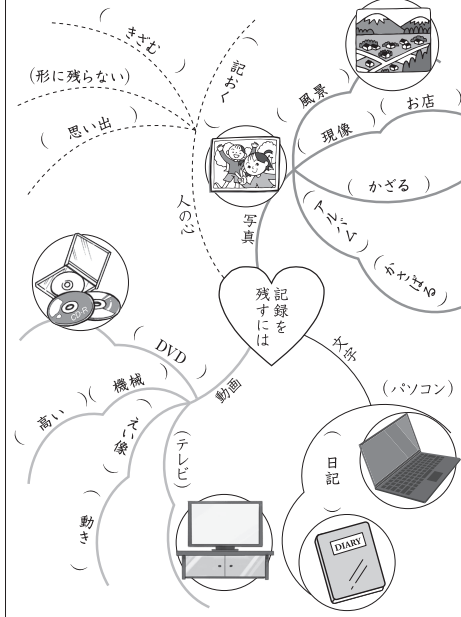
曜日

国語1枚目

算数1枚目

- 1
- (1) (式)  $5 \div (2 \times 2) = 1.25 \rightarrow 1.3$  (答え) **約1.3ひき**
- (2) (式)  $7 \div (2 \times 2) = 1.75 \rightarrow 1.8$  (答え) **約1.8ひき**
- (3) (式)  $10 \div (2 \times 3) = 1.66\cdots \rightarrow 1.7$  (答え) **約1.7ひき**
- (4) (式)  $12 \div (2 \times 3) = 2$  (答え) **2ひき**
- (5) (式)  $16 \div (3 \times 3) = 1.77\cdots \rightarrow 1.8$  (答え) **約1.8ひき**
- (6) (式)  $17 \div (3 \times 3) = 1.88\cdots \rightarrow 1.9$  (答え) **約1.9ひき**

小論文・ひらめき



右の「定義の型」で小論文を書き始めると想像しながら、心に書いてあるテーマについて、いろいろ考えてみましょう。( ) の中にイメージする言葉を書き、○に絵をかいてみましょう。

定義の型	疑問文の型	事実の型
「○○とは△△のことである。」 「○○と△△のちがいは△△である。」	「新新聞によると」「この前見たテレビでは」「よく△△とされているが、」「△△だろうか。」「本当は△△だろうか。」「△△だろうか、それとも△△だろうか。」	「事実によると」「この前見たテレビでは」「よく△△とされているが、」「△△だろうか。」「本当は△△だろうか。」「△△だろうか、それとも△△だろうか。」

小論文

ひらめき  
 小論文の書き出しを工夫しよう  
 五ノハで小論文の書き出しについて学びました。「事実の型」と「疑問文の型」の二つでしたが、その他にも書き出しがあります。

解答例

最初の暗唱を、毎日20回以上言っているかな？ 今日、何回言ったかチェックしましょう。

15日 10日 15日 20日

国語 五

月

日

曜日

国語2枚目

算数2枚目

1

(式)  $5 \times 2 \times 2 + 2 \times 8 \times 2$

(式)  $7 \times 10 - 3 \times 6$

(式)  $7 \times 2 \times 2 + 2 \times 6 \times 2$

(式)  $2 \times 2 \times 4 + 2 \times 6 \times 2 + 3 \times 2 \times 2$

空きの部分をひいて計算する  
 たてに分けて計算する  
 4ずみを分けて計算する  
 風車のように4列に分けて計算する

2

(式)  $8 \times 8 + 6 \times 8 - (8-4) \times (8-4)$

(式)  $8 \times 4 + (8-4) \times (4+6) + 4 \times 6$

(式)  $4 \times 8 + (8-4) \times (8+4) + 2 \times 8$

(式)  $(8+2) \times (8+4) - 4 \times 4 - 2 \times 4$

上下の長方形に分けて計算する  
 左右の長方形に分けて計算する  
 空きの部分をひいて計算する  
 2つの重なった四角と考えると計算する